

# 政府データ：COVID 感染と死は、ワクチン接種後に急騰している

Art Moore | WND.com

January 14, 2022

<https://www.infowars.com/posts/government-data-covid-infections-deaths-soar-after-vaccination/>

⇒これは数か国からの数値を確認している。

カナダのアルバータ州からのデータは、他の国家からの数値との矛盾を確かめるもので、「ワクチンを受けていない人々のパンデミック」という物語は、実は、ワクチン接種後に COVID-19 患者が急騰していることが明らかになった。

アルバータ州のデータが、特に有益なのは、この州が、1 回目と 2 回目のワクチン投与の後、毎日、COVID 患者、入院者数、それに死亡者を報告しているからである。

<https://www.alberta.ca/stats/covid-19-alberta-statistics.htm#vaccine-outcomes>

440 万の人口からの最新の数字は、COVID による感染数、入院数、死亡数のすべてが、人々が 1 回目のワクチンを受けた後、数日から数週後に、急騰することを示している——と、前 NY タイムズ記者 Alex Berenson は報じている。

<https://alexberenson.substack.com/p/covid-infections-and-deaths-soar>

(図表——入院者数と死亡者数)

彼の指摘によると、この数値はイスラエルとイギリスの国家データを証明するもので、それらは COVID の死亡者は、大量ワクチン接種の運動が起こったあとで、記録的な高さに達していることを示している。

ベレンソンは、COVID ワクチンを推奨する者たちは、イギリスにおける死者は、すでに存在していた寒波の結果でありうると主張していると言う。(しかし、と彼は加えた。フランスやスペインのような、他のヨーロッパ諸国は、同じような大きな波には直面していない。)

いずれにせよ、この説明は、アルバータには当てはめることはできない。アルバータはそのワクチン運動を、2020 から 2021 年の冬季の、COVID がピークとなった後で始めたからである。2021 年の 2 月さなかを通じて、アルバータの住人は、その 2% ほどしか最初の接種を受けていない。

ベレンソンは書いている——「このピークの最も確からしい説明は、ワクチンの最初の投与は、昔も今も、免疫システムを一時的にだけ働かせるということで、これはファイザー自身の臨床実験データが明かにした通りだ。」

<https://www.medrxiv.org/content/10.1101/2020.12.09.20245175v1.full-text#F7>

彼はこれについて、「アメリカの保健機関やメディアで使われる計算のルールでは、すべてこれらの死亡や感染は、ワクチンを受けていない人々に起こっていると計算し、そう報告しているのだ」と指摘した。

2021 年 8 月 16 日から 12 月 5 日までのイギリスのデータは、ワクチンを受けた人々が、COVID-19 死亡者の、5 人のうち 4 人までを占めていることを示している、と [Gateway Pundit](https://www.medrxiv.org/content/10.1101/2020.12.09.20245175v1.full-text#F7) は報じた。<https://www.medrxiv.org/content/10.1101/2020.12.09.20245175v1.full-text#F7>

更に言うと、ある英国の“technical briefing on SARS-CoV-2 variants of concern”は、12 月 29 日の時点で、十分にワクチンを受けた人々が、今、西洋諸国を支配しているオミクロン株の感染による入院者数の、74%を占めていることを明らかにした。

**編集者ノート:** 昨年、アメリカの医者、看護師、医療従事者たちが、恐怖の新しいパンデミックと戦っている第一線の英雄として、称賛を受けた。ところが今日、ジョー・バイデンの下で、この同じ何万という英雄たちが、反逆者、陰謀論者、過激派、また潜在的テロリストとして糾弾されている。膨大な数の警察官、消防士、国境パトロール隊、ネイビーシール、パイロット、航空管制官、それに無数の他の、真に重要なアメリカ人たちと共に、彼らはすべて危険人物で、その職業も個人的生命も終わらせるに値する、実験的 COVID ワクチン注射を拒否する人間だと考えられている。

バイデンの暴君的な命令は、法執行機関から、航空会社、商品供給組織、病院に至るまで、アメリカの社会全体を、不能状態に陥れようとしている。そしてすでに実行されている。しかし**朗報**は、莫大な数の「昨日の英雄たち」が今、勇敢かつ大胆に、逆襲しようとしていることである。この全体的で画期的な対決は、これまで例のないやり方で展開されており、WND という月刊のセンセーショナルな警告の雑誌の 10 月号に、「偉大なアメリカ

の反逆：〈我々は同調しない！ COVID-19 権力掌握は、国家的反抗の大胆な新時代に火をつけた〉」という記事を出した。

<https://superstore.wnd.com/whistleblower-single-issue-october-2021/>

参考：「我々は何百万という人々の大量殺人を監視している、と独占インタビューで、マローン博士が警告」

<https://banned.video/watch?id=61de1fa6d944506aa7f5bf56>

[訳者 Greatchain 注]

昨晚（1/15）の NHK ニュースは、ここに言われている事実とは逆の「ワクチン物語」を執拗に宣伝していた。これは、バイデンという犯罪的半狂人が顔を出して、同じことを言っているのだから、視聴者が素直に聞ける話ではなかった。まあ、「みんなで渡れば怖くない」という気休めが、あるところまでは通用するでしょう。しかしその音頭取りが、バイデンという、雇われ半狂人であるとしたら、この気休めはたちどころに恐怖に変わる。「彼ら」は今、手加減をしながら様子を見るという、これまでの立場は、もう取っていないと思われる。「反抗するならお前たちに、すべての恐怖を見せてやろう」と、言っていると想定しなければならない。これは我々の一昨日のニュースの、SOTN の恐ろしいビデオでもわかる。

ファイザーの CEO がわざわざ、これまでのワクチンはほとんど効かないと、公的声明のように言っているのに、そのワクチンの、残りのマイナス効果（多発する心臓発作による急死+おそらく不治の、ワクチン多用による免疫不全）のために、わざわざ3度目の接種をするのは馬鹿げている。

あるユーチューバー預言者が、このワクチン騒動はやがて、裏切られた人々による怒りの爆発をもたらすだろう、と言っている。全く同じような言い方で、ニュージーランドに隠れ住むグローバリストのボス（おそらくロックフェラーかロスチャイルド？）が、やはり恐ろしい予想をしている。お読み願いたい。彼はまた「ワクチンなんてキーウイでも打たないだろう」と言っている。

<https://www.dcsociety.org/2012/info2012/211102.pdf>

## サタン信仰が公立学校を侵略する

Infowars.com / January 14, 2022

⇒独占報告：グローバリストが、アメリカの最も無垢な者たちに、靈的戦争を仕掛けている。

<https://www.infowars.cohttps://freeworldnews.tv/watch?id=61e0826852060e6feb80cfcfm/posts/satanism-invading-public-schools/>

イリノイ州の親たちが、彼らの子どもたちの学校が、サタン寺院によって組織されている行事を認めていることを発見し、ショックを受けている。

### 民主党がアメリカ市民に対し宣戦を布告

<https://freeworldnews.tv/watch?id=61e0826852060e6feb80cfcf>

#### [訳者 Greatchain 注]

これは絵を見てもらえばわかるように、幼い子どもを対象にして、おそらく「サタン五芒星」と言われるものと蝋燭を使って、教育するものと思われる。これは放課後に行われる。この種の「教育」について前にも、ここで紹介したことがあり、そこでは可愛い子ども向けの絵本を使って、サタンを呼び出すようなものだったと記憶している。

これは見たところ単なる遊びで、大して害になるような、危険なものでないように見える。人々のコメントでも、大体、そのように言っている。しかしこれはやはり危険だと思う。これは子どもだけでなく、靈的な観点に対して無知あるいは鈍感な人々を、籠絡しようとするものと思われる。彼らは間違いなく、ペドフィリアや墮胎を奨励する教育を受けるであろう。幼い子どもを性的に暴行するのは、幼い子どもにワクチンを打つのと、本質的の同じである。

サタンと言うと馬鹿にする人々が多いと思われるが、バイデンがあるとき、訊かれもしないのに、「私はサタンの生まれ変わりだと言われても平気だ」と、ポツンと言ったことがある。これは重要である。我々が繰り返し言っているように、この世界の、特にこの時期においては、神とサタンとの対立という観点を抜きにしては、何ひとつ正しく理解できないだろう。このような世界を、唯物論・無神論で片づけ、意識的・無意識的に「彼

ら」に奉仕しようとしているのが、ほかならぬ「メディア・政府連合体」である。彼らグローバリストは、人々の、この霊的音痴を利用して、世界を乗っ取ろうとしている。したがって彼らは無神論者ではない。神を認め、その神を滅ぼそうとする者たちである。

世界はしかし霊的に目覚めつつある。良い悪いは別としても、呪術のようなものを信ずる人々は確実に増えている。もし子どももこんな遊びをしていれば、ほとんどの人が注意するであろう。悪霊というものは確かに存在する。しかも強い力を持ち危険なものでありうるものが、ようやく理解されてきた。これを理解する力は、我々に有利に働く。逆にこれを馬鹿にして、人々を迷信家とか陰謀論者などと呼び、唯物論科学だけが正当な科学であるかのように考える「帝王」アンソニー・ファウチなどは、滅びざるを得ない。彼はあとわずかな命しかないであろう。